

# 株式会社コシダカホールディングス

東証プライム（証券コード2157）

## 2026年8月期第2四半期 決算補足説明資料

2026年4月10日(金)

# アジェンダ

**1** 2026年8月期第2四半期 決算概況

**2** 2026年8月期 業績予想

# 1. 2026年8月期第2四半期 決算概況

## 【Executive Summary】

### ■過去最高の2Q売上計上も、コラボ反動減・新施策経費等で減益、 当期純利益は固定資産売却益で増益

- カラオケ事業：積極出店継続。前期大型コラボ案件の反動で既存店横ばい（コラボ除く101.5%）  
人件費、水光熱費は管理適正化で費用率低減も、新POS、E-bo導入費等その他の  
固定費増加が高み利益横ばいにとどまる。
- 不動産管理：既存物件堅調、新規物件収益化で、一部事業売却も売上維持、増益。  
不動産売却益計上し連結当期利益増益に寄与。
- その他事業：残存温泉施設閉店、カフェエクラ2店舗出店。飲食既存店は順調

### ■一株当たりの配当金：中間、期末各13円、年間26円（2円増配予定）

5期連続増配、過去最高額（株式分割を考慮）

## 【2026年8月期第2四半期連結業績】

■ 過去最高2Q売上高達成も、コラボ反動減でカラオケ既存店はyoy100.3%。

新POS、E-bo導入含むその他固定費増吸収できず減益。固定資産売却益で当期純利益は増益。

① コラボ関連売上が前1Q大口案件の反動で前年同期比6億円超の減少。コラボ除くベースでは既存店yoy101.5%。

② 人件費、水光熱費の管理適正化継続も、トップライン未達の中、新施策各種導入でその他の固定費増を吸収できず減益

③ 固定資産譲渡益（厚木ビスタホテル）計上し、当期純利益は増益。

(単位：百万円)

項目	2025年8月期 2Q	2026年8月期 2Q	前年同期比		2Q計画比	
			増減	増減率	計画値	達成率
売上高	34,004	38,932	+4,928	+14.5%	39,431	98.7%
売上総利益	8,594	9,324	+730	+8.5%	-	-
販売費及び一般管理費	3,480	4,320	+840	+24.1%	-	-
営業利益	5,114	5,004	-110	-2.1%	6,139	81.5%
(売上高営業利益率)	15.0%	12.9%				
経常利益	5,300	5,224	-76	-1.4%	6,105	85.6%
(売上高経常利益率)	15.6%	13.4%				
親会社株主に帰属する当期純利益	3,192	3,884	+692	+21.7%	4,933	78.7%
(売上高当期利益率)	9.4%	10.0%				
1株当たり当期純利益 (円)	38.97	47.13	+8.16	+20.9%	59.86	78.7%

## 【セグメント別 連結業績（前期比）】

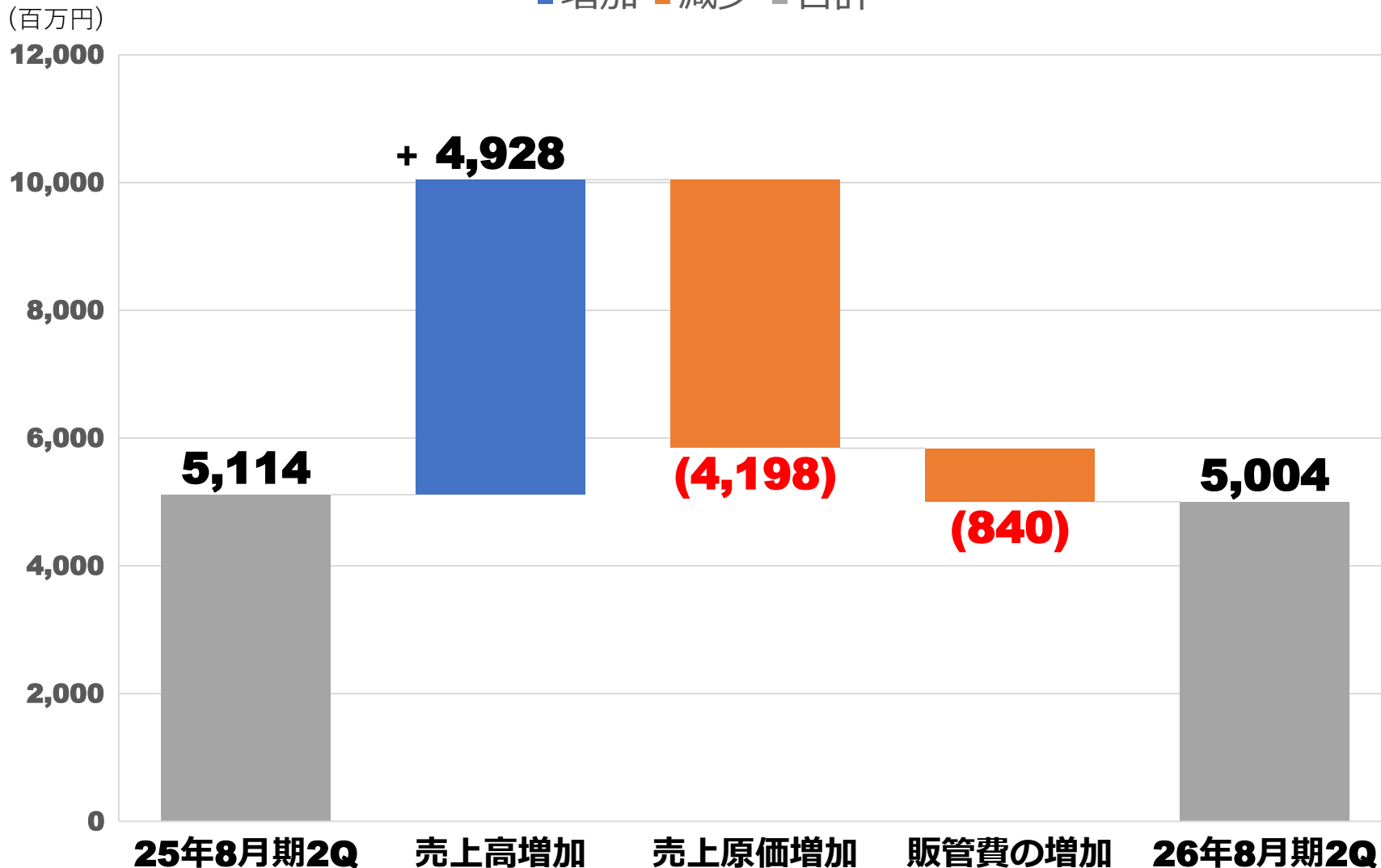
- カラオケ事業：積極出店継続も、前期大型コラボ案件の反動で既存店減収（コラボ除く101.5%）  
 人件費、水光熱費の管理適正化で費用率低減も、新POS、E-bo導入含むその他の固定費増加で微増益。
- 不動産管理：既存物件堅調、新規物件収益化で、一部事業売却も売上維持、増益
- その他事業：飲食既存店好調も、残存温浴施設閉店、カフェエクラ出店で営業赤字

(単位：百万円)

項目	2025年8月期 2Q	2026年8月期 2Q	前年同期比		2Q計画比	
			増減	増減率	計画値	達成率
<b>売上高</b>	<b>34,004</b>	<b>38,932</b>	<b>+4,928</b>	<b>+14.5%</b>	<b>39,431</b>	<b>98.7%</b>
カラオケ	32,900	37,794	+4,894	+14.9%	38,538	98.1%
不動産管理	917	927	+10	+1.1%	892	104.0%
その他	442	456	+14	+3.1%	244	186.8%
調整額	△255	△245	+10	-	△243	-
<b>営業利益</b>	<b>5,114</b>	<b>5,004</b>	<b>△110</b>	<b>△2.1%</b>	<b>6,139</b>	<b>81.5%</b>
カラオケ	5,649	5,676	+27	+0.5%	6,749	84.1%
（売上高営業利益率）	(17.2%)	(15.0%)			(17.5%)	
不動産管理	86	111	+25	+28.6%	94	117.2%
（売上高営業利益率）	(9.4%)	(12.0%)			(10.6%)	
その他	17	△61	△78	-	4	-
（売上高営業利益率）	(3.9%)	(-)			(2.0%)	
調整額	△638	△721	△83	-	△709	-

# 【営業利益 増減要因（前期比）】

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



## ■ 主な売上高の増加 (単位：百万円)

- ✓ 新店： +2,221
- ✓ スタダート・マレーシア： +3,405
- ✓ 既存店： +132
- ✓ 閉店等： △578
- ✓ 不動産・その他： +24
- ✓ 調整： +10

## ■ 主な売上原価の増加

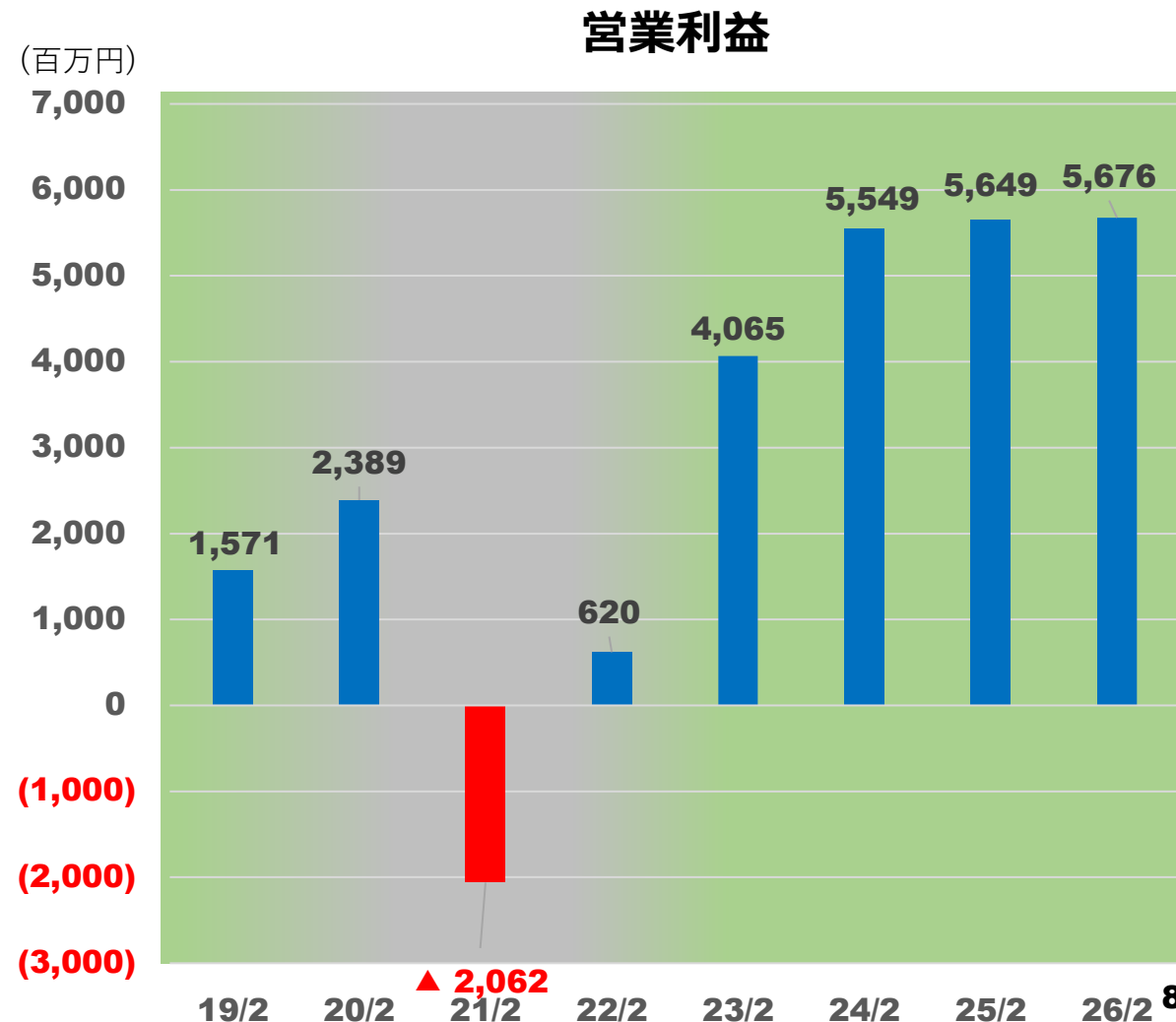
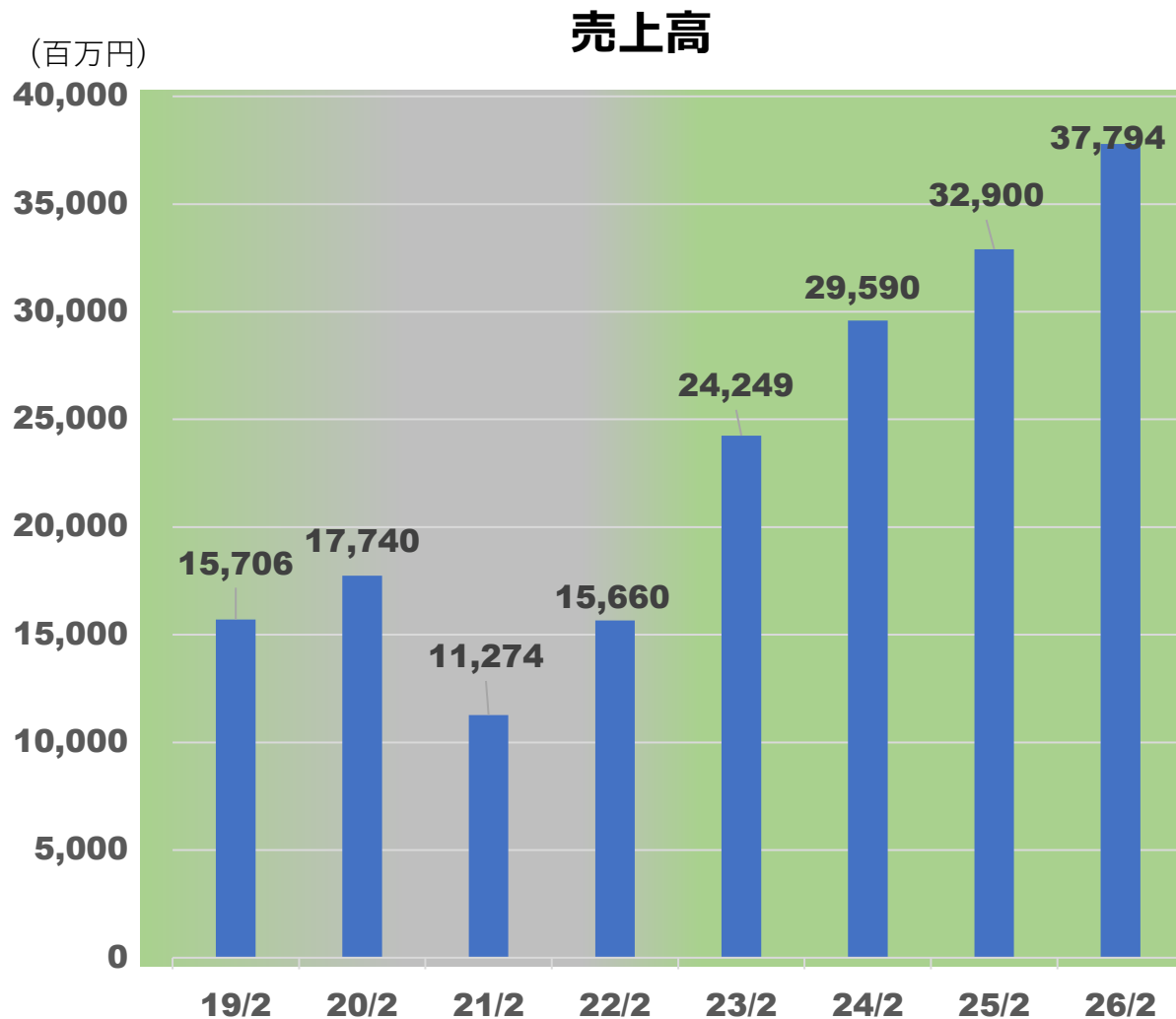
- ✓ 地代家賃： +1,344 (+23.6%)
- ✓ 人件費： +1,132 (+13.7%)
- ✓ 商品原価： +613 (+23.7%)
- ✓ 減価償却費： +258 (+12.4%)
- ✓ 水道光熱費： +192 (+10.3%)
- ✓ 備品消耗品費： +169 (+26.2%)

## ■ 主な販管費の増加

- ✓ 各種手数料： +482 (+188.1%)
- ✓ 人件費： +201 (+21.2%)
- ✓ のれん償却： +76 (+399倍)
- ✓ 販売促進費： +63 (+2088倍)
- ✓ 広告宣伝費： △63 (△13.6%)
- ✓ 開店諸費用： △51 (△11.7%)

## (※ご参考)【2Q連結業績の推移】

- 最も損益分岐点が高い2Qはコロナ前までは赤字。売上、営業利益ともにコロナ禍前を上回るV字回復を実現後は、黒字基調継続



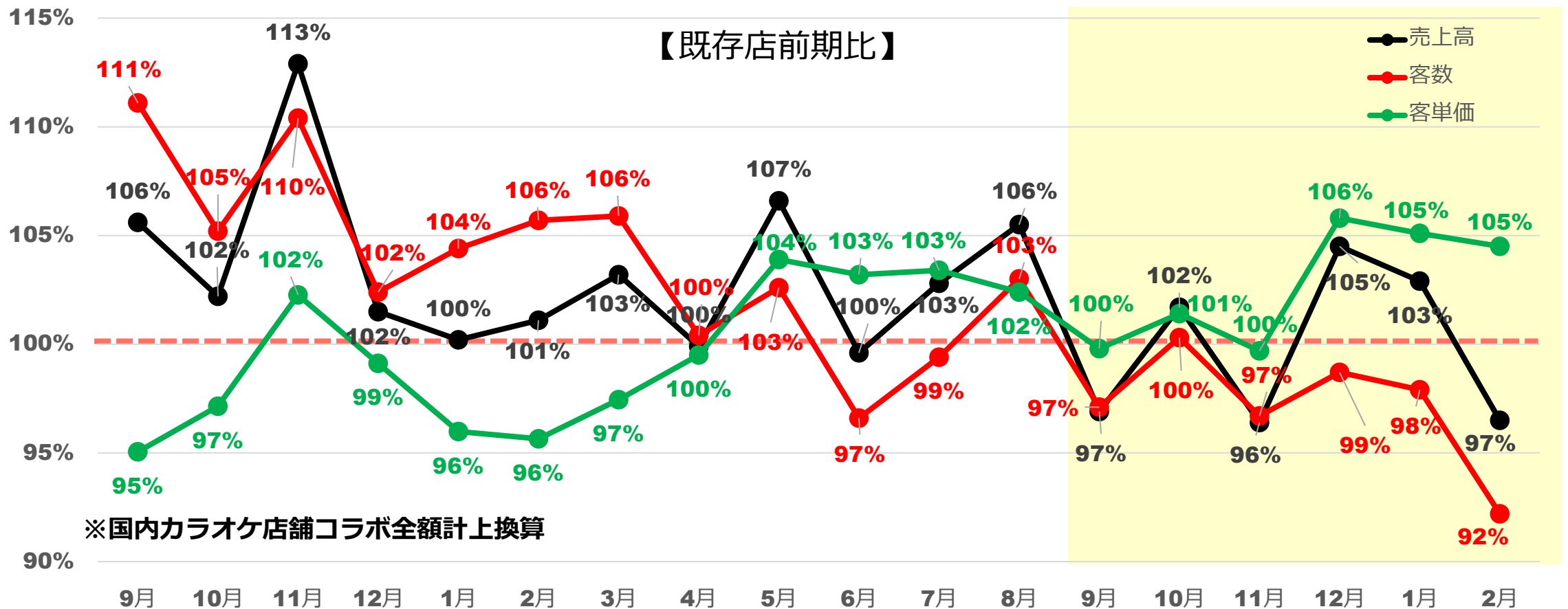
## 【カラオケ事業】

(単位：百万円)

	22/2旧区分		23/2		24/2		25/2		26/2	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	15,660	-	24,249	-	29,590	-	32,900	-	37,794	-
売上原価	13,578	86.7%	18,320	75.5%	21,540	72.8%	24,453	74.3%	28,598	75.7%
売上総利益	2,082	13.3%	5,928	24.4%	8,049	27.2%	8,447	25.7%	9,196	24.3%
販管費	1,461	9.3%	1,863	7.7%	2,500	8.4%	2,798	8.5%	3,520	9.3%
営業利益	620	4.0%	4,065	16.8%	5,549	18.8%	5,649	17.2%	5,676	15.0%

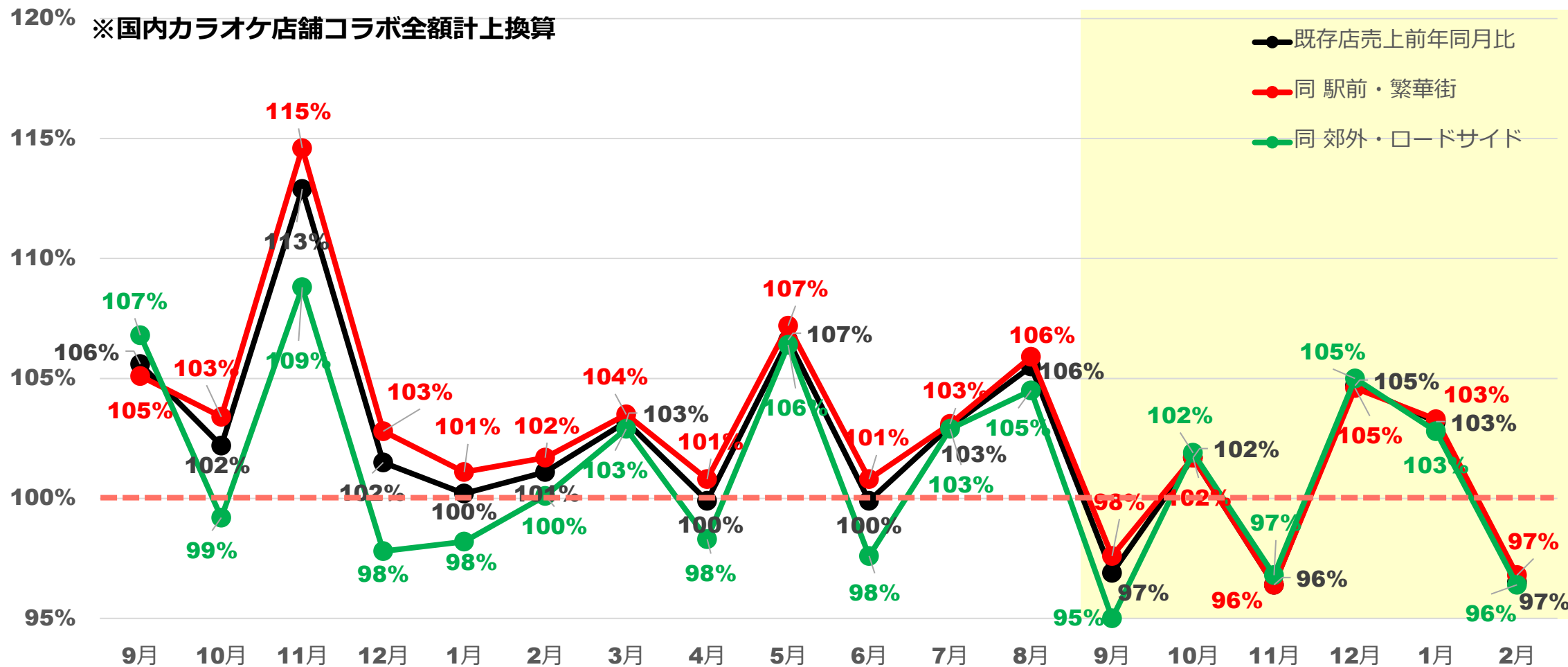
## 【既存店売上高・客数・客単価の推移】

- 既存店前期比は売上100.3%、客数97.2%、客単価103.2%
- 年末年始商戦はプラス推移。2月は選挙・オリンピック・雪のトリプルパンチでマイナス。
- コラボ売上が減少（既存店店舗経由分で3億円強減）、前期11月の大型案件の反動、コラボ除くベースで既存店101.5%



## 【既存店売上前年の推移】

- 2026年8月期第2四半期の既存店売上高(各月ベース)は前年同期比で1Qの98.2%から2Q101.9%に浮上。2Q累計で100.3%。
- 駅前・繁華街店舗、郊外・ロードサイド店舗はほぼ同じ数値で推移



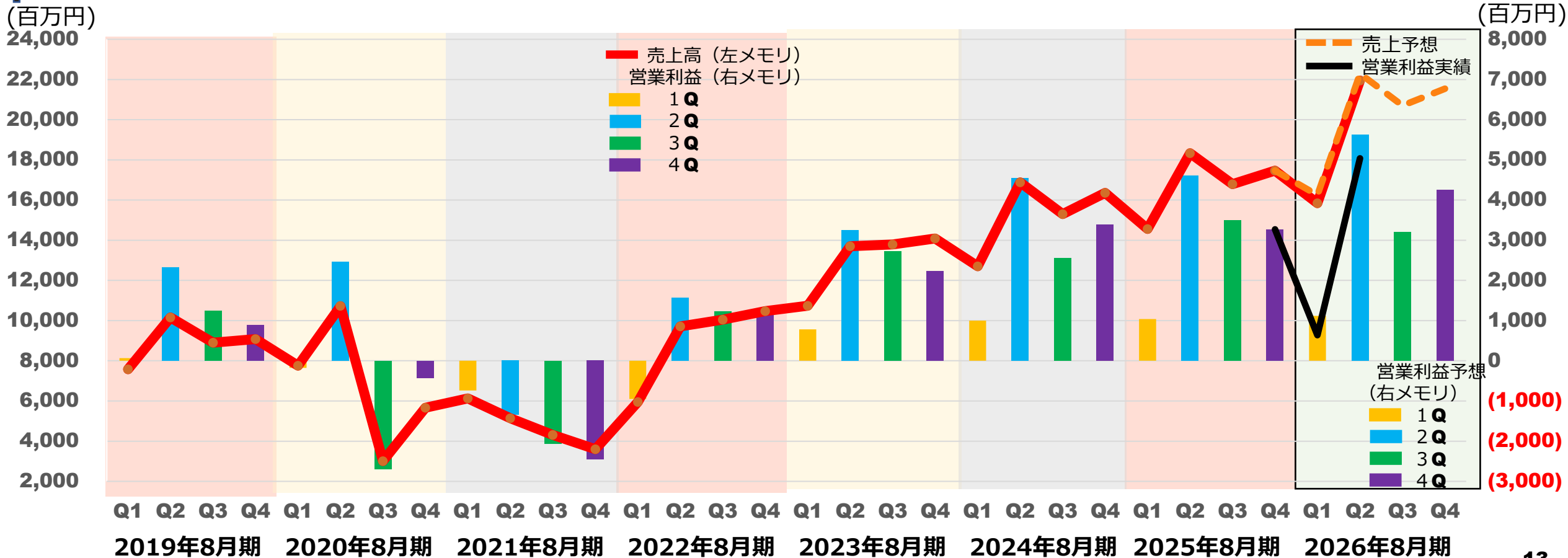
## 【カラオケ店「JOYSOUND」約70店舗がグループに加わる】

- エクシング子会社のスタンダード（旧）が運営するカラオケ店舗「JOYSOUND」等約70店舗からなる事業を、コシダカ子会社のスタンダード（新）に吸収分割（効力発生11/1）
- 11月～8月の業績が今期業績予想に追加。70億円相当。利益は2億円を見込む。
- 中間連結会計期間は11～2月分が連結対象。（スタンダード単独売上27億円）
- コマンダー（カラオケ機械）メーカー直営店として高価格、多メニューのポジショニング。ブランド・ポジショニングを維持して、「まねきねこ」との棲み分け想定。商圈によりブランドの相互見直しも。
- 共通食材・ドリンク等の仕入集約、家賃交渉、各種運営面での生産性向上などでの費用率低減を順次着手。利益率改善に。
- バックオフィスについて、物件開発など要強化分野の増強と、統合による効率化を同時並行
- 25/3期業績・財務状況、継承する資産・債務
  - 25/3末の債務超過を関係会社借入金で賄っているが、借入金は承継対象から除外し吸収

# 【カラオケセグメント四半期ベース業績推移】

- 年末年始商戦を含む2Qに売上・利益が集中、お盆を含む夏季商戦の4Q、春休み・GWの3Qと続き、1Qが最も低い水準
- 最閑散期の1Qは、コロナ前は赤字だったが、2023年8月期以降4期連続の黒字

カラオケセグメント四半期ベース業績推移



## 【カラオケ店舗・ルーム数状況】

店舗数 ルーム数推移		25/8月		26/2月		増減	
		店舗数	ルーム数	店舗数	ルーム数	店舗増加数	ルーム増加数
まねきねこ	駅前/繁華街	409	11,660	419	11,919	+10	+259
	郊外/ロードサイド	288	7,185	293	7,405	+5	+220
	計	697	18,845	712	19,324	+15	+479
ワンカラ		6	207	6	191	0	-16
JOYSOUND スタンダード	駅前/繁華街	-	-	63	1,779	+63	+1,779
	郊外/ロードサイド	-	-	6	170	+6	+170
	計	-	-	69	1,949	+69	+1,949
合計		703	19,052	787	21,464	+84	+2,412

出店・退店数		25/8月期 1Q	25/8月期 2Q	25/8月期 3Q	25/8月期 4Q	25/8月期 通期累計	26/8月期 1Q	26/8月期 2Q	26/8月期 2Q累計
出店数	駅前/繁華街	10	6	5	12	33	8	3	11
	郊外/ロードサイド	6	1	3	7	17	6	3	9
	合計	16	7	8	19	50	14	6	20
退店数		3	2	2	4	11	3	2	5

## 【海外業績】

- 東南アジア各国で積極出店継続：  
1Hにマレーシア3店舗、インドネシア1店舗をオープン
- フラッグシップ店舗の出店で、認知度の確立と、大型化により収益性を改善
- 米国での物件を特定、1店舗目出店準備中（建築関係、諸申請）
- フィリピン現地法人を設立。並行して物件探索中。



【Alamanda店  
(マレーシア)  
の様子】

【Selayang店 (マレーシア) の様子】



【Bintaro  
X-change Mall店  
(インドネシア)  
の様子】

(単位：百万円)

	25/8月期			25/8月期			26/8月期		
	通期			2Q			2Q		
	売上高	営業利益	店舗数	売上高	営業利益	店舗数	売上高	営業利益	店舗数
海外全体	1,451	63	25	723	55	25	852	△4	29
韓国	94	△30	4	53	△11	4	45	△23	4
マレーシア	926	108	15	456	62	15	553	40	18
タイ	312	△10	4	153	6	4	184	△14	4
インドネシア	119	△5	2	61	△2	2	70	△7	3

※タイ、インドネシアは非連結

# 不動産管理・その他事業

## 【不動産管理事業】

- 主要既存物件はほぼ満床にて推移  
⇒ アクエル前橋、MANEKI新橋ビル、フルーレ桜木町
- 新規物件取得による収益・経費増加
- 厚木ビスタホテルは売却、売却益を1Q特別利益に計上、関連収益は減

(単位：百万円)

	22/2		23/2		24/2		25/2		26/2	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	536	-	753	-	749	-	917	-	927	-
売上原価	460	85.8%	610	81.0%	697	93.1%	809	88.2%	797	85.9%
売上総利益	76	14.2%	143	19.0%	53	7.1%	108	11.8%	131	14.1%
販管費	7	1.3%	14	1.9%	12	1.6%	22	2.4%	20	2.1%
営業利益	68	12.7%	129	17.1%	40	5.3%	86	9.4%	111	12.0%

## 【その他事業】

- 「銀だこハイボール酒場」「カフェエクラ」等の既存飲食店舗業績は概ね堅調な推移
- 温浴2店舗閉店、「カフェエクラ」新規出店2店舗に係る一時費用により赤字化

(単位：百万円)

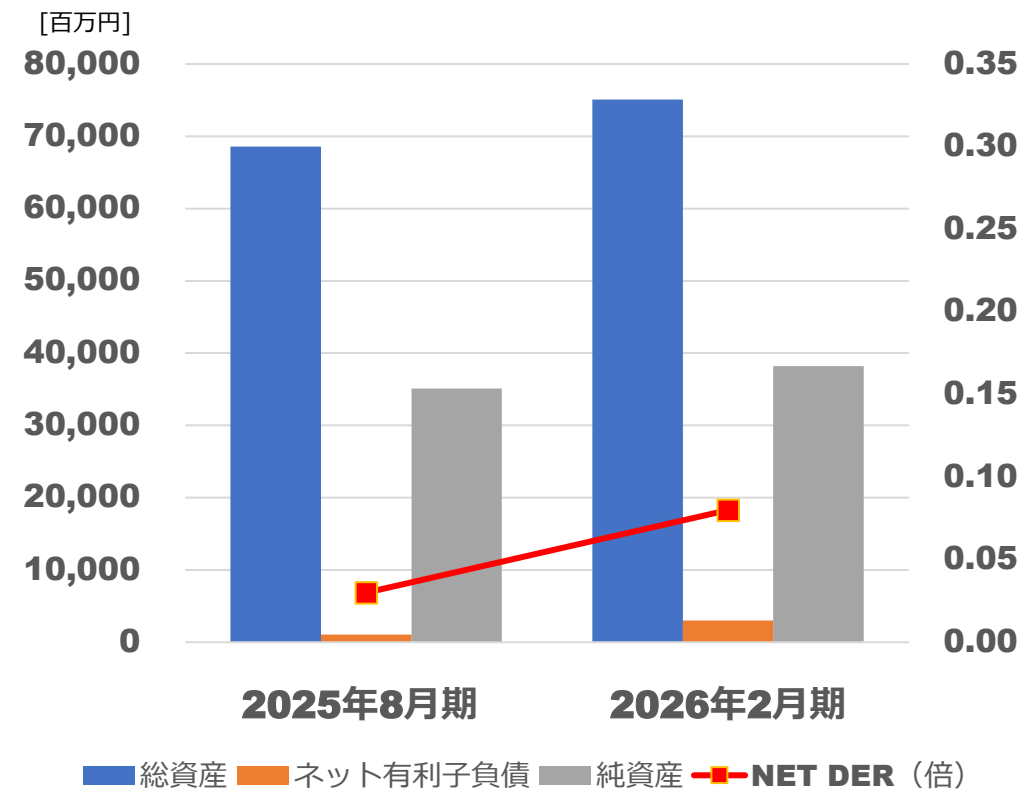
	22/2旧区分		23/2		24/2		25/2		26/2	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	437	-	717	-	434	-	442	-	456	-
売上原価	470	107.6%	710	99.0%	451	103.9%	402	90.8%	459	100.5%
売上総利益	△32	-	7	1.0%	△16	-	41	9.2%	△2	-
販管費	13	3.0%	23	3.2%	23	5.3%	24	5.4%	59	12.9%
営業利益	△46	-	△15	-	△39	-	17	3.9%	△61	-

# 財政状態・キャッシュフロー

# 財政状態

(単位：百万円)

	2025年8月期	2026年2月	増減
流動資産	15,791	13,447	△2,345
固定資産	52,797	61,630	+8,833
総資産	68,588	75,077	+6,488
流動負債	14,923	16,406	+1,483
固定負債	18,559	20,485	+1,926
純資産	35,105	38,185	+3,080
ネット有利子負債	1,038	2,992	+1,955
自己資本比率	51.2%	50.9%	0.3%pt低下
NET DER (倍)	0.03	0.08	0.05上昇
ROE※ (25年2月中間期と比較)	※ 9.9%	10.6%	0.7%pt上昇

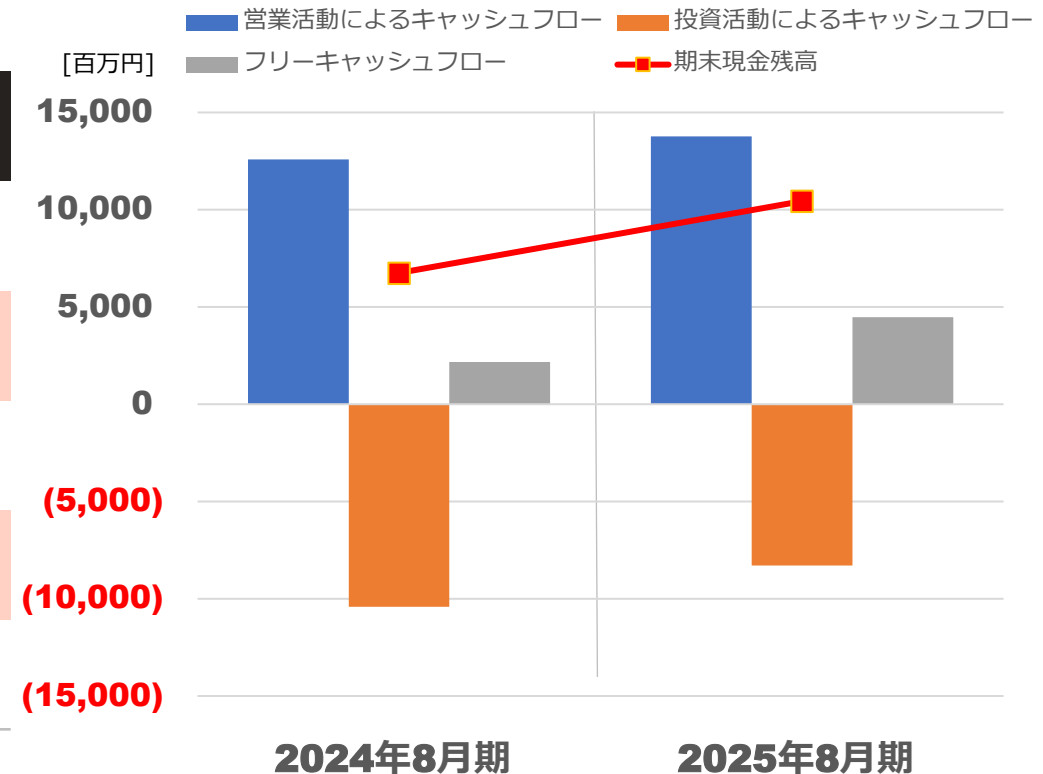


積極出店の継続、スタンダード吸収分割で固定資産中心に総資産が増加。のれんは中間期末で29億円に。吸収分割、前期末配当などを期末手元資金から充当し流動資産が減少、NET有利子負債が増加。DERは前期末の現金残が多かった反動で上昇も、引き続き低位。純資産増加も、純利益増加でROEは前上期比で0.7%pt上昇。

# キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2025年2月期	2026年2月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	+5,315	+6,643	+1,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,035	△7,692	△3,657
(フリー・キャッシュ・フロー)	+1,280	△1,049	△2,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	+54	△1,752	△1,807
現金及び現金同等物の期末残高	8,050	7,792	△258



営業キャッシュフローで、積極出店投資を賄う構図は変わらずも、今回は事業譲受による支出も重なりフリー・キャッシュフローはマイナス。前期下期に手当した資金から充当し上期末ベースでの現金残高は若干減の範囲。

## 2. 2026年8月期 業績予想

# 【2026年8月期 業績予想】

## 通期業績予想

（単位：百万円）

項目	2025年8月期 実績	2026年8月期 通期予想	前期実績比	
			差異	増減率
売上高	69,387	82,046	+12,659	+18.2%
営業利益	11,392	11,831	+438	+3.8%
（売上高営業利益率）	(16.4%)	(14.4%)		
経常利益	11,598	12,030	+432	+3.7%
（売上高経常利益率）	(16.7%)	(14.7%)		
親会社に帰属する 当期純利益	5,258	6,451 ～8,444	+1,192 ～+3,185	+22.7% ～+60.6%
（売上高当期利益率）	(7.6%)	(7.9%) ～(10.3%)		
1株当たり 当期純利益（円）	64.01	78.27 ～102.45	+14.25 ～+38.43	+22.3% ～+60.0%

### ■ カラオケ事業

- ・国内既存店は前年比100%を想定。
- ・2025年8月期新店(50店舗)のフル寄与分、2026年8月期新店分が上乘せに。
- ・スタンダード分収益（25/11～26/8）は売上高70億円、営業利益2億円見込む。
- ・上期は労働生産性適正化継続効果、こまめな節電施策徹底による原価低減を継続。下期期初予想維持で通期増益。
- ・2026年8月期より新規連結対象となるコシダカマレーシアについては売上高10億円、営業利益1億円を見込む。
- ・特別利益として固定資産売却益994百万円を1Qに計上（厚木ホテルビスタ等）
- ・下限予想には前期実績同等額の減損損失（期末）を見込む

### 【ご参考】

Advantage Advisorsに発行した新株予約権及び転換社債の潜在株は8,889千株@675円。 23

# 【 2026年8月期 業績予想（セグメント別） 】

## セグメント別通期業績予想

（単位：百万円）

項目	2025年8月期 実績	2026年8月期 通期予想	前期実績比
			差異
<b>売上高</b>	<b>69,387</b>	<b>82,046</b>	<b>+12,659</b>
カラオケ	67,162	80,037	+12,874
不動産管理	1,857	1,818	△39
その他	879	699	△180
調整額	△511	△489	23
<b>営業利益</b> (売上高営業利益率)	<b>11,392</b> (16.4%)	<b>11,831</b> (14.4%)	<b>+438</b>
カラオケ (売上高営業利益率)	12,405 (18.5%)	13,121 (16.4%)	+715
不動産管理 (売上高営業利益率)	222 (12.0%)	208 (11.4%)	△14
その他 (売上高営業利益率)	37 (4.3%)	△67 (-)	△104
調整額	△1,272	△1,431	△158

### ■ 不動産管理

- ・厚木ホテルビスタを10/24付にて売却し、以降の該当収益が減少。関連する売却益は前頁記載の通り。

### ■ その他

- ・温浴施設「郡山湯処まねきの湯」「箕郷温泉まねきの湯」閉店し、温浴事業は終了。該当売上約5億円減少見込み。
- ・飲食店舗は既存店増収と新店出店で1億円増収。

## 【2026年8月期 配当方針】

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と認識しており、EIP(※1)実現や次の成長の柱を創出していくことで事業の更なる成長と資本効率の改善等に取り組み、中長期的な株式価値向上とともに、継続的な配当を実施していきたいと考えております。

具体的な配当水準については、既存・新規事業への再投資規模等を勘案し、配当性向水準の中期的な継続的上昇を念頭に、都度決定することと致します。

- 当期につきましては、前期期末配当金から半期1円増配し、中間・期末各13円の、通期26円配当を予定

### 1株当たり配当金／配当性向

(単位：円)

	20/8期	21/8期	22/8期	23/8期	24/8期	25/8期	26/8期 (予想)
中間	8.0	2.0	4.0	5.0	7.0	12.0	13.0
期末	4.0	2.0	4.0	7.0	11.0	12.0	13.0
年間	12.0	4.0	8.0	12.0	18.0	24.0	26.0
配当性向	-	-	17.9%	13.8%	21.8%	37.5%	33.2% ~25.4%

※1 EIPとはEntertainment Infrastructure Plan=中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」を指します

## 株主優待の配布(優待権利確定月：8月)

必要株数	優待内容
<b>100株以上</b>	<b>3年未満保有株主</b> <b>2枚 / 2,000円相当</b>
	<b>3年以上保有株主</b> <b>4枚 / 4,000円相当</b>
<b>400株以上</b>	<b>3年未満保有株主</b> <b>5枚 / 5,000円相当</b>
	<b>3年以上保有株主</b> <b>10枚 / 10,000円相当</b>
<b>1,000株以上</b>	<b>3年未満保有株主</b> <b>10枚 / 10,000円相当</b>
	<b>3年以上保有株主</b> <b>20枚 / 20,000円相当</b>

※株主優待券は日本全国の「カラオケまねきねこ」「カラオケ金のまねきねこ」「ひとりカラオケ専門店ワンカラ」でご利用いただけます。(銀だこハイボール酒場、カフェエクラ等その他の屋号の店舗ではお使いになれません。)

1回の会計で最大5枚まで利用可能、かつ、他のサービス券との併用可。

# 株式会社コシダカホールディングス

東証プライム（証券コード2157）

本資料は、2026年8月期第2四半期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2026年4月10日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更される可能性があります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。